

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：ハーバード大学（アメリカ合衆国）

## Q. 今回の留学プログラムの感想

研究室では国際色豊かなメンバーに囲まれて、様々な文化圏の人と交流することで視野が広がった。毎日学ぶことがあり、刺激であふれた日々だった。将来のことや自分に何が足りないのかを考えるきっかけにもなり、留学中だけでなく帰国後の勉強のモチベーションになった。日本にいる時よりも時間の余裕があり、自分の興味のあることに時間をかけられる環境だった。色んな人との出会いもあり、今後も大切にしていきたい縁を多く得られた。初めての一人暮らしだった上に、自己主張のはっきりとした人の多い環境で過ごして、精神的に少したくましくなったと思う。

## Q. 健康管理や危機管理について

体調を崩さないように注意していたが、終盤で風邪を引いてしまった。やりたいことが沢山あっても無理せず過ごすのが大事。

## Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

研究実習での海外留学の3か月は決して長い期間ではありません。だからこそ、多くのことを学ぶんだという意識を持ってしっかり準備をして渡航すべきだと思います。やる気や熱意があれば、それに応じて研究室のメンバーも様々なことを教えてくれて、打ち解けられます。何事にも興味を持って色々なことにチャレンジしてください。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

奨学金の応募やVISAの手続き。特にVISAの申請は必要な書類が多かった上に少し複雑だった。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：アメリカの独立記念日にチャールズ川沿いに花火を見に行きました！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：トロント大学/カナダ

<p><b>Q. 今回の留学プログラムの感想</b></p>	<p>今回の留学はもちろん研究がメインだったので、研究について一生懸命取り組んだ留学プログラムであった。研究自体日本での経験も全くなく、初めての研究が海外だったので、自分自身きちんとこのプログラムを達成できるのか不安であった。しかし、とにかく目の前のことをきちんと頭で考えながら処理して、結果を得るというプロセスを通して自分の自信にも少しつなげることができた。また、研究だけでなく、語学や海外の文化に触れることができたのもかけがえのない経験だったと思う。特に言語面では、3か月の期間では自分の満足できるような成長はできなかったのですが、歯学のことだけでなく、英語の学習に関してもよりモチベーションが高まった。さらには今の自分がどれくらい言語的に他</p>
<p><b>Q. 健康管理や危機管理について</b></p>	<p>特に海外ということもあり、健康管理には日本にいるときよりも細心の注意を払った。特に、食事に関しては、自分の場合ほぼ外食ではあったが、バランスを考えて一食一食を食べるようにしていた。また、トロントは自分が思っていたよりは治安は良かったが、不審者は日本よりも断然多いので、常に気を張って外は歩いたほうが良いと思った。</p>
<p><b>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b></p>	<p>自分が配属された研究室は、メンバーに非常に恵まれていると思った。自分的にはこの研究室で研究実習ができてとても幸せだったなと感じたので、これから行く後輩もきっと有意義な研究実習を送ることができると思う。また、研究の内容が微生物学なので、口腔内細菌に興味がある人にはおススメしたい。</p>
<p><b>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</b></p>	<p>派遣先の希望は昨年9月から決まっていたが、正式に向こうの大学とのやり取りが始まるのが2月頃と、遅めであったのが大変だった。というのも、派遣先が正式に決定していない段階で、トビタテといった奨学金に応募しなければならないからである。向こうとの連絡をまだ取っていないとなると、やはり奨学金採用にも少し不利になってしまったりするので、もう少し早めに連絡を取っておきたかったなと感じた。</p>



コメント：研究室のメンバーと撮った写真です

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同



# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：イギリス/King's College London

## Q. 今回の留学プログラムの感想

研究室の人たちは皆優しく、わからないことは理解できるまで説明してくれました。そのおかげで自分の研究の必要性、面白さというものが気づけたと思います。初めての海外生活でしたが、日本の生活では経験し得ない貴重な体験ができ、新たな視点やモノの考え方を身に付けるいい機会になりました。3ヶ月という短い期間ではありますが、この期間で学んだことをこれからの日常生活に活かしていきたいと思います。

## Q. 健康管理や危機管理について

イギリスは乾燥しています。水分をこまめにとっておかないと熱中症になります。僕はなりました。

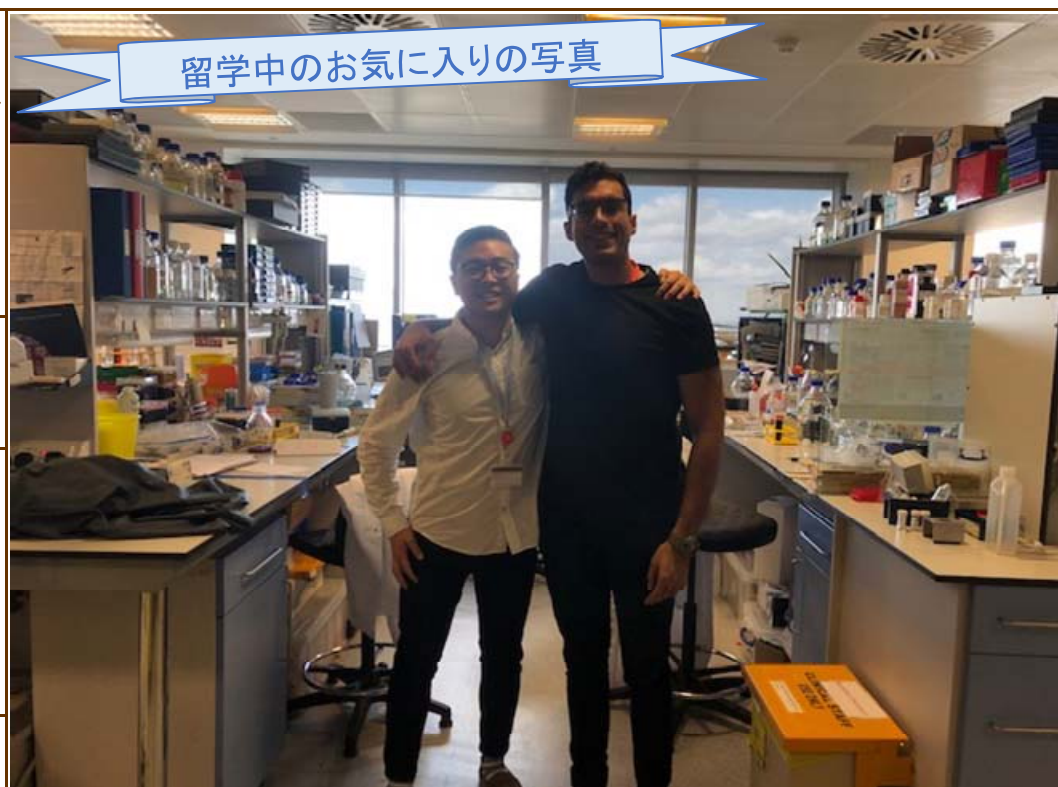
## Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ

自分が思っている以上に英語は話せるものです。もちろん基礎的なことは必要ですが、まずは一歩踏み出す勇気を持つことが大事だと思います。研究だけでなく日常生活にも学ぶべきことは多いです。明確な目的意識をもって留学に行くことを勧めます。

## Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと

特にないです。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：担当の院生の方と。兄貴的存在です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：キングス・カレッジ・ロンドン/イギリス

<b>Q.今回の留学プログラムの感想</b>	研究室ではsupervisorをはじめとして、ラボのメンバー皆が英語の拙い私に優しく、たくさんのアドバイスをくださった。研究することははじめてだったが、多くの研究手法を教えていただいて、どれもとても興味深かった。将来研究する道は今まであまり考えていなかったが、少し自分の中で研究へのイメージが変わった。また、毎週のmeetngに参加させていただくことができたのも良い刺激になった。皆friendlyで他のラボとの連携もとれているように感じた。文化の違いについては日々実感した。3か月間生活したからこそ体感することができたこともたくさんあった。また、本学から出張でいらした先生とお会いすることができた。King's College Londonの歯科病院は条件があってみることができないので、その先生に相談したところご厚意により、現地の歯科医院を見学させていただく機会に恵まれた。自分の強さ弱さと向き合うことができた3か月間だった。行く前は不安ばかりだったが、勇気を出していくことを決めて良かった。これからのモチベーションアップにもつながった。これからも機会があればぜひ留学を検討したい。
<b>Q.健康管理や危機管理について</b>	8月は今までの疲れか毎週末一日は体調があまりよくない日があった。頑張るのは大切だが、自分の体と向き合って頑張りすぎないことも大切だと思う。また、ロンドンは比較的安全とはいえやはり日本とは違うので街を歩くときは少し注意を払う必要があると思う。
<b>Q.今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b>	準備は早め早めに進めていくと良いと思う。また、自分と向き合って自分が行きたい理由をしっかり考えることが大切だと思う。私にとって渡航前の準備で一番大変だったのは、Visaの申請と、奨学金申請のためにまだ研究内容が決まっていな中で自分が何をやりたいのかを明確にすることだった。Visaはその年によって少し変わったりするのでホームページで確認するべきだと思う。私は分からないことがあったら、自分で調べるだけでなく、今まで研究実習で海外に行った先輩からLINEであったり、直接お会いしてお話したりして情報を集めた。みなさん優しく話してくださいました。先輩にはたくさん頼って良いと思う。
<b>Q.留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</b>	昨年の7月頃から海外行くことを考えていたが、なかなか決定せず研究実習へのモチベーションを保つのが難しく、自分の準備も遅れてしまった。研究実習に行く前に日本で少し研究をしたと思っていたが、なかなか行動しづらく、行く前の三週間放課後に研究の様子を見せてもらうだけになってしまった。また、奨学金申請は早いもので9月から始まるため1年前から準備しなければならず、志望動機など考える必要があったが、自分の中で明確になっていなかったのが難しかった。今まで一人暮らしもしたこともなく、海外に長期滞在したこともなかったので、海外での生活自体に不安だった。また、英語もあまり話せなかったので海外で研究実習がきちんとできるのかも不安だった。



コメント：ロンドン最後の日の朝焼け

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同